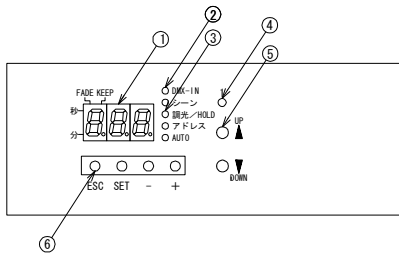


操作パネル

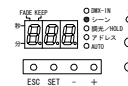


各部の名称	機能
① 3桁LED表示灯	調光値・フェード時間を表示します。
② DMXモニター	外部DMXコントローラーを接続した時に点灯します。
③ モード表示LED	選択されたモードを表示します。
④ 調光モニター	回路の調光出力の目安になります。
⑤ UP/DOWNスイッチ	調光値・フェード時間等を設定に使用します。
⑥ コントロールスイッチ	モードの切換え・シーンの記憶・アドレスの設定等に使用します。

モード概要

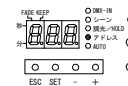
シーンモード

本体で記憶したシーンを出力します。
(別途シーン再生パネルが必要になります)



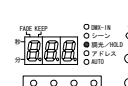
DMXアドレス、出力動作設定

DMXのアドレスと調光回路が直回路か設定します。



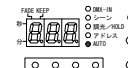
DMX動作モード

DMX受信機として動作します。無信号時に直前の値を保持するか消灯するか設定します。



AUTOモード

記憶させたシーンを自動的にループ再生させたりシーンスイッチに割り当てる事ができます。自動調光や点滅に最適です。

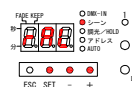


シーンの記憶方法

○出力モードを変更する場合は、次項「DMX動作モード及び出力の設定方法」で出力モード設定を行ってください。
(出荷時は調光になっています)



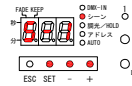
- モードを選択します。
 - 「SET」スイッチを一度押して表示を (SEL) にします。
 - 「-」「+」スイッチを押して、モード表示を (シーン) に移動させます。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



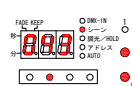
- シーン記憶時の出力の状態を選択します。
 - 「RL」リアル出力=設定している調光値をそのまま出力します。
 - 「SHA」シャドー出力=現在の状態を変化させる事なく記憶できます。

メモ：営業中等で出力を変えたくない場合に、シャドー出力で記憶させて下さい。
通常は確実に記憶を確認できるリアル出力をお勧めします。

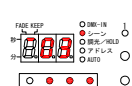
- 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



- 記憶するシーン番号を選択します。
 - 「-」「+」スイッチを押して、記憶するシーン番号を選択してください。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



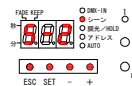
- 調光値を設定します。
 - 「▲」「▼」スイッチを押して、調光値を設定してください。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



- フェードタイムを設定します。
 - 「-」「+」スイッチを押して、フェードタイムを設定してください。
 - フェードタイムは下記の範囲で設定できます。
 - 0. 1秒単位=0. 1秒~0. 9秒
 - 1秒単位=1秒~9.9秒
 - 1分単位=2分~9.9分

メモ：フェードタイムとは、シーンが立ち上がり変化している時間です。

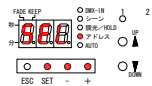
- 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



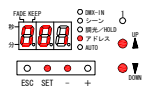
- 3のシーン番号に戻ります。
 - 続けて記憶させる場合は、そのまま3からの手順で記憶させてください。
 - 終了させたい場合は「ESC」スイッチを数回押して元に戻してください。

メモ：「ESC」スイッチは、戻る時に使います。

DMX動作モード及び出力の設定方法



1. アドレスをセットします。
 - 「SET」スイッチを一度押して表示を (SEL) にします。
 - 「-」「+」スイッチを押して、モード表示を (アドレス) に移動させます。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



2. アドレス番号をセットします。
 - 「-」「+」スイッチを押して、アドレスを選択してください。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。

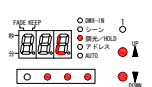


3. 出力のモードを設定します。
 - 「▲」「▼」スイッチを押して、モードを設定してください。
 - 「d」 調光出力=DMX入力0~255を調光出力します。
 - 「I」 直出力1=DMX入力0~254がOFFで255でONになります。
 - 「L」 直出力2=DMX入力0がOFFで1~255でONになります。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。

※シーンで使用する場合は、前項の「シーンの記憶方法」に戻ってください。



4. DMX動作設定
 - 「-」「+」スイッチを押して、モード表示を (調光/HOLD) に移動させます。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。

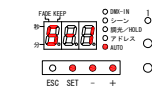


5. DMX出力のモードを設定します。
 - 「+」「-」スイッチを押して、モードを設定してください。
 - 「r」 DMXリアル出力。入力無データ時はOFFになります。
 - 「H」 DMXホールド出力。無データ直前の状態を維持します。
 - 「F」 DMX出力モード。本体の状態を出力します。
 - 「SET」スイッチを一度押してください。
 - このまま「ESC」スイッチを1回押すとアドレスが表示されて完了です。

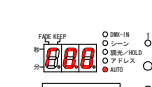
AUTOモードの設定方法



1. モードを選択します。
 - 「SET」スイッチを一度押して表示を (SEL) にします。
 - 「-」「+」スイッチを押して、モード表示を (AUTO) に移動させます。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



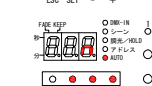
2. スタートのシーンを決めます。
 - シーン1からシーン番号→フェードタイム→キープタイムの順番で設定して行きます。
 - 飛ばしたいシーンは、フェードもキープの0で入力してください。
 - 最初にフェードとキープ時間を入力したシーンからスタートします。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。



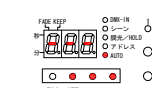
3. フェードタイムを設定します。
 - フェードタイムは0. 1秒から1秒まで0. 1秒単位、1秒~9.9秒まで1秒単位、2分~9.9分まで1分単位で設定できます。
 - (フェードタイム0にすると、点滅回路として使用できます。)



4. キープタイムを設定します。
 - キープタイムは0. 1秒から1秒まで0. 1秒単位、1秒~9.9秒まで1秒単位、2分~9.9分まで1分単位で設定できます。



5. マークを付けます。
 - 「+」「-」スイッチを押して、マークを付けます。
 - ノン=何にも処理をせずに次のシーン進みます。(シーン8では「n」が表示されません)
 - エンド=このシーン最後に停止状態になります。
 - リターン=このシーンが終わるとシーン1に戻り連続ループ再生します。
 - 「SET」スイッチを一度押して次に進んでください。
 - (「E」「R」を選択した場合へ...)



5. 解除と割り当てをします。
 - 「+」「-」スイッチを押して、マークを付けます。
 - 解除=オートモードを解除します。

- シーン番号=1~4は、シーンパネルで呼び出せます。
- 5~8は、外部接続信号で呼び出せます。
- オート=本体電源ONで自動再生します。

- 「SET」スイッチを一度押して完了です。